

那珂市那珂インターチェンジ周辺を核とした活力あふれる まちづくり検討委員会における委員意見（第3回）

○國井委員

県北地域への玄関口としての利用する県外の方が現段階では多いが、大子町にインターが
つながる話もでています。那珂IC（道の駅）があるから寄るためのコンセプトや商品など
をしっかり決めないといけないと思いました。

地元の方が集まる（目的）もしっかりしないといけないと思う。

○大野委員

他の市町村の道の駅などを見て、より大きくと思わないで中身で勝負、かっこよくスタイル
など勝負で規模を追い求めないで欲しい。那珂市の身の丈に合った施設10年後も作って良
かったと思われる施設を目指して欲しいです。

○平野委員

市内はもちろん、県内外からの集客と北の玄関口として県北地域への活性化も含め大きな
役割を担っていくことが重要と思います。

○檜山委員

那珂市は、県北の玄関口として注目している中、那珂ICはその中心的存在でありアンケ
ート結果でも、80%以上の方がIC周辺地域でまちづくりを進める事に賛同、IC周辺に
あってほしい施設として、物産センター・道の駅などの観光・地域振興施設等を開設するこ
とに、68.4%の方が賛同しているアンケート結果を真摯に受け止め、県植物園などの、
リニューアルに向けた基本構想を制定され、実現すれば来訪者も大幅に増加するのではない
かと思います。

那珂市においても、少子高齢化が急激に進行する中、近い将来自治会制度が崩壊し、益々
地域が疲弊し活力を失うのではないかと懸念しております。私は、道の駅を中核とした、市
民の交流場所としての多目的ホール・災害時の防災拠点等に対応できる複合施設を整備する
ことは、活力ある地域づくりに貢献できるのではないかと考えております。

施設の運用にあたっては、市民が参画した施設にするために、投資を募り、市民に密着し
た施設にしてはと考えております。また、巨額な資金を投下し整備する事となるために、市
民に対し説明会等を開催し、ご理解とご協力をいただく必要性もあると思います。

○根本委員

那珂市全域を考えますと、現在北西部地域の開発が遅れ、人口減少が進んでいる状況にあ
ります。この機会に、周辺地域を含めた農村の魅力、森林の利活用等特性を生かした開発が
必要かと思えます。

○綿引委員

インターチェンジ周辺地域の周辺とはどこまでなのか。できればインターチェンジとどの
路線の間ぐらいの言い方をしても良いのではないかと。

産業活性化については、農業、商業などの具体的な表現を入れてほしい。